

元祖 石川書店 WEB版

令和2年度 愛知教育大学附属岡崎中学校 読書だより

映画『童話の迷宮』が
おもしろすぎ、びっくり。

第4話 R02.04.21(火)
「新しい日本語で、
おいしい料理をつくる。」

★今回、紹介する本は、『カレンの台所』（著/滝沢カレン、出版/サンクチュアリ出版）です。

正直、滝沢カレンのことは、顔ぐらいしか知らなかったのですが、この料理本を手にとり、今まで滝沢カレンのことを何も知らなかった自分を恥じました。そして、後悔が止まりません。

この本は、料理をつくる様子を、滝沢さんの魅力あふれる表現で語りつくした1冊。料理自体もとってもおいしそうなのですが、そんなことよりも、日本語がとってもおもしろすぎて笑えます。

ユニークな語り口、かわいらしい擬人法、不思議な比喩をふんだんに盛り込んだ文章を読んでいると、とても楽しい気持ちになります。「この人は、日本語をこわしているのではない。あたらしい日本語をデザインしているのだ」という糸井重里の推薦コメントが、ずばり本質をついています。彼女の世界を味わってみては？



「この人は、日本語をこわしているのではない。あたらしい日本語をデザインしているのだ。」

「なんとも想像をかきためられる文章だよねー。」

『気持ちにどこまでも自由に
何よりも感覚を大切に
元気な自分へと歩いていく
だけです。』
(p.135)



麻婆豆腐

まずは油を引いたフライパンに
生姜とにんにくをレディファーストしてあげ、
なんだか匂ってきたらひき肉塊をいれ、
まな板で千切りするかのよう、
ガツガツとヘラで刺激してあげてください。
ある程度の男子学校になるなど
いう分までバラけさせたら、
また刻むだけ刻んだネギをいれ
共学にさせます。
男子という名のひき肉は喜びに変わり
どんどん男らしくなっていきます。

↑ ほぼ0のカストより引用